

平成22年度診療報酬改定について

(平成22年度予算大臣折衝資料)

全体改定率 +0.19%

1 診療報酬改定 (本体)

改定率 +1.55%

各科改定率	医科	+1.74%
	〔入院	+3.03%〕
	〔外来	+0.31%〕
	歯科	+2.09%
	調剤	+0.52%

2 薬価改定等

改定率 ▲1.36%

薬価改定 ▲1.23% (薬価ベース ▲5.75%)

材料価格改定 ▲0.13%

協会けんぽの国庫負担及び診療報酬改定について (抄)

2 診療報酬改定

平成22年度診療報酬改定においては、我が国の医療が置かれている危機的な状況を解消し、国民に安心感を与える医療を実現していくため、厳しい経済環境や保険財政の下ではあるが、配分の見直しや後発品の使用促進を図りつつ、診療報酬本体の引上げを行う。

(1) 診療報酬改定 (本体)

改定率 +1.55% (ネット +0.19%)

各科改定率	医科	+1.74%
	歯科	+2.09%
	調剤	+0.52%

医科については、急性期入院医療に概ね4,000億円程度を配分することとする。また、再診料や診療科間の配分の見直しを含め、従来以上に大幅な配分の見直しを行い、救急・産科・小児科・外科の充実等を図る。

(2) 薬価改定等

改定率 ▲1.36%

薬価改定 ▲1.23% (薬価ベース ▲5.75%)
材料価格改定 ▲0.13%

なお、別途、後発品の置き換え効果の精算を行う。

医薬品価格調査及び特定保険医療材料価格調査について

1. 医薬品価格調査

○ 平均乖離率： 約 8.4%

注1) 平成21年9月取引分について、販売サイドから10月26日までに報告があったものの集計結果である。

注2) 平均乖離率とは、

$$\frac{(\text{現行薬価} \times \text{販売数量}) \text{の総和} - (\text{実販売単価} \times \text{販売数量}) \text{の総和}}{(\text{現行薬価} \times \text{販売数量}) \text{の総和}}$$
 で計算される数値である。

2. 特定保険医療材料価格調査

○ 平均乖離率： 約 7.6%

注1) 平成21年5～9月取引分(ただしダイアライザー、フィルム、歯科材料、保険薬局調査分については平成21年9月取引分のみ)について、販売サイドから12月4日までに報告があったものの最終集計結果である。

注2) 平均乖離率とは、

$$\frac{(\text{現行材料価格} \times \text{販売数量}) \text{の総和} - (\text{実販売単価} \times \text{販売数量}) \text{の総和}}{(\text{現行材料価格} \times \text{販売数量}) \text{の総和}}$$
 で計算される数値である。

(参考)

医薬品価格調査(薬価本調査)の内訳

(1) 投与形態別

区分	乖離率(%)	薬価ベース占有率(%)
内 用 薬	8.7	67.1
注 射 薬	7.9	22.8
外 用 薬	7.1	10.1
歯科用薬剤	1.4	0.0
合 計	8.4	100.0

(2) 主要薬効群別

	乖離率(%)
(内 用 薬) 血圧降下剤	9.4%
消化性潰瘍用剤	9.9%
高脂血症用剤	9.8%
血管拡張剤	10.8%
精神神経用剤	8.2%
その他のアレルギー用薬	9.7%
その他の血液・体液用薬	8.6%
他に分類されない代謝性医薬品	8.3%
糖尿病用剤	8.6%
その他の腫瘍用薬	7.8%
(注 射 薬) 他に分類されない代謝性医薬品	11.2%
血液製剤類	3.4%
その他のホルモン剤(抗ホルモン剤を含む。)	7.5%
その他の抗腫瘍薬	7.0%
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの	8.8%
(外 用 薬) 鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	7.4%
眼科用剤	7.1%
その他の呼吸器官用薬	7.9%
(歯科用薬剤) 歯科用局所麻酔剤	1.2%